

令和 7 年度 国東市地域密着型サービス運営委員会会議録

招集年月日	令和 7 年 8 月 28 日（木曜日）
招集の場所	国東市役所本庁舎 4 階 委員会室
開会	令和 7 年 8 月 28 日（木曜日） 18 時 00 分
出席委員	石川 祥一郎 会長（老人クラブ連合会代表者） 清原 正義 会長（民生児童委員代表者） 笹野 喜代子 会長（女性団体連絡協議会代表者） 帯刀 真也 会長（医師会代表者） 福永 功 会長（歯科医師会代表者） 野邊 靖基 院長（国東市民病院代表者） 秦 桂子 部長（東部保健所国東保健部代表者）
議長	帯刀 真也 会長（医師会代表者）
出席した職員	<福祉課 高齢者支援係> 田川幸伸課長、志丸由美リーダー、衛藤幸子主幹 <地域包括支援センター> 古庄康子センター長、河野千鶴統括リーダー、溝部一晴リーダー、 佐保美和主幹、桑原円主幹、後藤千晶主幹、野田舞副主幹、 荒金満里恵主査
帯刀議長	□ 開会あいさつ（田川課長）  <国東市地域包括支援センター運営協議会に引き続き開催> 地域密着型サービス運営委員会設置規則第 3 条に基づいて、運営委員会は国東市地域包括支援センター運営協議会の委員をもって充てるとなっていますので、 引き続きこのメンバーで協議します。
衛藤主幹	<b>議事</b> (1) 国東市地域密着型サービス事業所指定状況について (2) 地域密着型サービスにおける給付費の推移及び令和 6 年度の実績について (3) 第 9 期介護保険事業計画における地域密着型サービスの整備について
志丸リーダー	
野邊委員	<b>質疑応答</b> 3 ページの待機者の部分で、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 が 44 人いるということでしょうか。そこの理由がわかりにくく、今はまだ定員は 40 人で すよね。そこの理屈がわからなかつたので。

衛藤主幹	定員は 40 人ですが、入所希望の方が 44 人いらっしゃることなので、かなりの方がお待ちになっているというところです。
野邊委員	僕の認識では、毎日サービスを受けるわけではないのですよね。ですから（定員が） 40 人あれば、どこかに組み込めそうな気がしたので。待機という意味合いがわかりませんでした。毎日 40 人利用してゐる人がいて、待機者が 44 人いるということですか。
衛藤主幹	こちらは老人ホームですので、入所されたらそこで生活されます。
野邊委員	わかりました。そういうことですね。 これも基本的なことですが、給付費の算出の仕方はどういうふうになっていますか。予防給付・介護給付の額の算式があり、その中に当てはめているということですかね。給付、予防給付と色々されていますが、どのように求めているのか。
衛藤主幹	平均についてでしょうか。
野邊委員	はい。
衛藤主幹	利用された分の実績が届き、それを計算しています。
野邊委員	推計値の方は、何か計算式があるのか。
志丸リーダー	推計値は、見える化システムというものがありまして、必要なデータを入力することで、将来推計というデータが取れますので、それをもとに計算をしています。
溝部リーダー	この推計は第 9 期の介護保険事業計画、介護保険の中で見込みの金額です。ですので、ここの 3 年間は見込み違いだったということ。毎年見た推計で、当初予算の推計値ではありません。これは第 9 期の介護保険事業計画ではこの推計値で上げたということです。
野邊委員	これはプラン通りなのですね。
秦委員	質問させていただきます。先ほど野邊委員も仰っていたところですが、グループホーム

	<p>や地域密着型に入所したい方が入所できていないと思います。ですが、こういった方は現在ご自宅で暮らしているとか、待機している方のサポートは何かあるのかと思ったものですから。廃止の事業所が増えていくと、待機される方が増えていくのではないかと危惧されるなと思いました。在宅で生活できることが一番いいとは思いますが、なかなかこう、こういう方が今から増えていくのかなと。</p>
帶刀議長	<p>関連がありますので一緒に質問です。44人待機しているということですが。地域密着型の入所者生活介護は、この令和4年5年6年と利用者数が減っている。実績値が減っているが、これはもうキャパシティがなくなり減っているということでいいですか。</p> <p>利用希望者が増えたため待機している人が多いならよくわかりますが、利用者が減っているが待機者が多いというのは、対象者がどうしているのかと並行して、単純に施設が閉鎖し、入所できなくなっているのではないかと。</p>
溝部リーダー	<p>44人の待機者は、おそらくダブルカウントしていると思います。地域密着型に入所申し込みをしているが、他にも特別養護老人ホームのむさし苑、鈴鳴荘、姫見苑、くにさきの郷にも入所申し込みされている、例えばAさんは姫見苑にも鈴鳴荘にも申し込みをしているというケースはよくあります。要は病院からも、2つか3つは申し込みをしておかないとすぐに入所できませんよというお話ですね。おそらく44人も色々な施設に申し込みをしており、Aさんがこの中に3人分入っているような感じもします。先ほどお話があったようにキャパシティ、確かに今、人材不足でグループホームも減ってきました。小多機も人材不足で事業所が廃止になるため、高齢者の住むところがなくなっているのではないかとのご意見もありましたが、実は増えている事業所があります。これが有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅です。この期間中に2つの事業所が立ち上りました。かなりの利用者がそこを利用していることもありますし、実は事業所が立ち上げやすいです。人員基準が緩やかで、高齢者がアパートに住むように、3食お食事がついて、24時間見守りの職員を配置している。介護のサービスを使いたいと言った時は、住宅型はケアマネがついてデイサービスに行く、ヘルパーさんに来てもらうような取り組みが始まり、要は新たな施設整備に転換している状況です。</p> <p>介護保険料が一番はね返るのが施設整備でして、以前、介護医療院を立ち上げました。その時の介護保険料がかなり高くなつたことがありました。第10期に向けて利用者さんの地域の在宅サービスか施設整備か、ニーズ調査を行いながら、今後の施設整備づくりに関連すると思っております。特養やサ高住、有料老人ホームの状況を見ながら推計していきたいと思っています。</p>

帶刀議長	去年の資料の方を持っていないですが、3年前4年前からすると、地域密着型の定員数は減っているのですか。利用者が減っているのに待機しているというのはおかしな話。定員数が減っているため、待機者が増えているということなので。
清原委員	申し込みをしていて、順番待ちになっている人がどうしているかというと、デイサービスを使えるだけ使い、途中には短期宿泊を利用してその施設に泊まって、また連れて帰ると。家庭から通わせてという形ですね。それが大変で、結局誰かがずっとついていないといけないということで、施設に入れようと思って家族は申し込む。そしてなかなか順番が来ないという。ですから1人がつきっきりという形になるため、デイサービスに行っている間は他の仕事をする。ほとんどの人がそういう形で介護をされている。
帶刀議長	ご意見ありがとうございます。他に何かありますか。
秦委員	関連して、清原委員が言われたことで、ご家族は大変ですが本人は幸せというか、ご家族がいるから何とかなっていると思いますが、独居の高齢者がどんどん増えている中で、1人で自宅での生活できなくなった時に、有料などすぐに行けるところがあるといい。そういう人が路頭に迷わない仕組みが作れるといいと思います。長く在宅で過ごせることが本当はいいのですが。やはり独居の高齢者という問題も大きくなってくるかなと思いましたので。清原委員のことともとても参考になりました。ありがとうございました。
清原委員	独居の高齢者については、各地区の民生委員さんが定期的に回って行っていますが、色々な話が出て来ます。自分が生まれた所だから、もうここで何とか死にたいと。だからもう私を放っておいてくれという人もいます。話をする中で、もう危ないのでないかと思った時には必ず上に上げる、包括の方と話をして今後はどうするかというのを話しています。民生委員も重点的に、独居の高齢者の自宅に訪問をしています。今後も引き続きやっていきたいと思っております。
古庄所長	清原委員さんから、包括支援センターと連携して、独居の方もしくは高齢者世帯の支援の必要な方、大変よく情報提供をいただきますので、そういった取り組みもしております。 反対に民生委員さんたちに、同じ敷地に2つ家を持っていて、敷地内に家族はあるが、実質独居の高齢者であるという家庭もございます。そういった場合には、民生委員さんにお願いをして情報をいただく、今後どのように関わるといいかということもご相談をさせていただいておりますので、またどうぞよろしくお願ひいたします。

帶刀議長	私は地区で組長をしているが、地域の中で独居の方を教えてくださいとか、資料を出してくださいというのは、社会福祉協議会が把握しているのか。
河野統括リーダー	<p>社会福祉協議会の方だと思います。</p> <p>地域ふれあいネットワークというものがあります。区長さんや民生委員さんや組長さんたちが集まり、地域の防災について、例えばこういう時にはどこに声をかけたらいいかというシステムができている地区と、まだそこに至っていない地区があると思います。地域で独居の高齢者が非常に多くなり、昨年台風10号の被害があった時に、どこのお宅に誰が迎えに行くか等を改めて確認する必要があるのではないかということで、社会福祉協議会が中心になり、その整理をしなければならないという所は伺っております。</p>
清原委員	<p>その件で、独居の高齢者や高齢者夫婦のみの家を把握するというのは、地区ごとに年4回から5回、ふれあいネットワーク会議を開いて把握するようになっている。その会議には、区長さん、班長さん、それから老人クラブ、民生委員、保健推進委員と参加しますので、それこそ災害時に、誰と誰を誰が支援するかということを決めています。</p> <p>地域には自主防災組織が本当はあるはずですが、まず避難指示が出て避難する時に、この人は要介護だから誰かが連れて行かないといけない、そういうことを全部決めるために、その地区の高齢者の名前を出してくださいというかたちです。</p> <p>皆さんもうご存じかと思いますが、民生委員は65歳以上の高齢者と言われている人の情報をほぼ皆さん持っています。個人情報に気を付けながら、定期的に確認をして新しい情報に書き換えています。</p> <p>ですから、一番新しい情報は民生委員が持っていると思います。ふれあいネットワーク会議の際は、役員の皆さんに共有し情報を確認いただいています。</p> <p>例えば、この方は一人暮らしだが、大分に子供さんがいて、月に2回か3回帰って来る、緊急時はこの人に連絡をするという情報を把握しています。院長が言われた名前を出してくださいというのは、こういうふうに使われています。</p>
帶刀議長	<p>他に何かありませんか。ないようでしたら、運営委員会での報告事項について協議を終了したいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>これで運営委員会での報告事項は終わりにします。円滑な議論にご協力ありがとうございました。</p>

	<input type="checkbox"/> 開会あいさつ（古庄所長）
--	---------------------------------------